

金切りノコの使い方

基本の

梅雨の季節到来です。家で過ごすことが多いこの時期、DIYにチャレンジしてみませんか?DIYに大活躍の道具のひとつに、金切りノコがあります。金属やプラスチック、レンガまで切ることができ、粗大ゴミの解体などにも大活躍します。そこで、今回は、金切りノコの選び方と使い方の基本をご紹介します。



■金切りノコの種類

●弦なしタイプ



刃に柄が付いただけのシンプルなタイプ。狭い隙間に最適です。

●短い弦かけタイプ



刃の根元に弦が付いているタイプ。弦なしと弦かけの中間の強度。

●弦かけタイプ



刃全体に弦が付いているタイプ。ステンレスのコの字型のチャンネルや、カーテンレールなど硬いもの用。

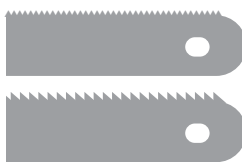
●弦かけタイプ両手用



両手で前後を持ち体重をかけて切るタイプ。

■刃の種類

替刃のサイズは共通ですが、替刃は切断する材料に適した刃を選びましょう。



← 目が細かいもの
樹脂、金属などに向く

← 目が粗いもの
石こうボードやスレートなどに向く

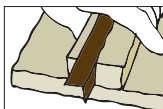
■金切りノコで切れるもの

アルミ ステンレス プラスチック 樹脂 塩化ビニール
レンガ タイル ガラス など ※種類によって異なります

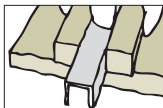
■使い方のコツ (作業中は手袋を使用して下さい)

①端材を使ってしっかり固定

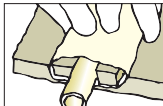
比較的硬い物を切るのでもしっかりと固定をすること。コの字型(チャンネル)やL字型(アングル)などは端材で挟んだ上で手で固定します。円筒形のパイプなどは、端材で挟んでから、滑り止めシートを巻くことをおすすめします。そして作業中は必ず手袋などの手袋を着用してください。



L字型



コの字型



円筒型

②柔らかいものは引いて、硬いものは押す

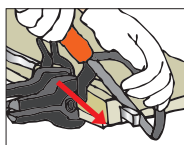
樹脂、アルミなど比較的柔らかいものは引いて切ります。鉄やステンレスなど硬いものは、体重をかけて押し切ります。引き切りと押し切りでは刃の向きが逆になるので、必ず刃を付け直しましょう。

柔らかいものは引く



← 刃の向き

硬いものは押す



→ 刃の向き

③刃を立ててゆっくりまっすぐ切る

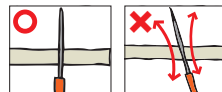
金切りノコを使うときは、刃を立てて、大きくゆっくりと動かしながら切るのがポイントになります。その時、まっすぐ前後に動かすことも重要。作業中に刃が折れないように、刃に負担のかからない切り方を心がけます。

立ててゆっくり大きく



刃を立てて角を切る。その時は大きく動かして刃全体を使う。

まっすぐに



刃を曲げずにまっすぐ、ゆっくり動かす。

『288号バルサ材で簡単手づくり』『252号ナチュラル素材で木の実・葉っぱで小粋なインテリア』『205号とっても小さなりニューアル』『191号ペインティングで・メイク!』『179号手作りのキッチンカウンター』もあわせてご覧ください。

まだまだあります **バックナンバー**。詳しくは「住まいの宝箱」HPの(お困りキーワードでサイト内検索!)で!